

事務事業	11041	私立認可保育園補助事業	担当課	子育て支援課	担当係	保育係
計画期 画期 体計 系画	施策	05 子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	予 算 科 目	会 計 項 目		
	取り組み方針	130 子育てしやすい保育環境を整える				
法令根拠条例等			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 30年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返		年度より開始		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 30 年度～ 31 年度	

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 平成30年度に民営化したかめやま保育園の園舎建替えに係る工事費等の補助を行い、安全な保育環境を整備するとともに、定員60名の増員を図り待機児童の解消を図る。		<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
		主 な 事 業 費 の 内 訳	千円
			千円
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) かめやま保育園の建替え工事の際に必要な工事費や解体費等、保育施設の整備に係る費用に対して補助金を交付し、国・県の補助金申請等の事務手続きを行う。			千円
			千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務事業の目的	① 手段(主な活動) 30年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ・建替えにかかる町・国の補助金申請等事務	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)				
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) かめやま保育園建替え実施法人	⇒	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)				
	③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 安全な保育環境が整い、また定員を60名増員することができる。	⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)				

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	30年度 (決算値)	31年度 (当初予算)	32年度 (計画)	33年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源						
		合計(A)	0	0	0	0	0	0
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)			1,528	1,317		
	トータルコスト(A)+(B)	0	0	1,528	1,317	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成30年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
かめやま保育園は新しい耐震基準前のS47年に建築され老朽化も進んでおり、安全で快適な保育環境を提供するためには園舎の建替えが必要であること。さらには園舎建替えに伴い、定員を増加することにより待機児童解消を図ることができると判断したため。 なお、その際、国(県)の補助交付対象については、民間の法人等のみとなっているため建替えを条件にかめやま保育園を民営化するに至り、法人の選考を行った。	保育園の園舎建替えにかかる費用については、民間の設置者の場合のみ、補助金の対象となっており、公立保育園(地方自治体)の場合は、対象外となっている。また、現在は待機児童解消のため定員を増員する目的の場合は、国の補助率のかさ上げがなされている。	保護者からは、園舎が新しくなり安全で安心した園生活ができることに期待が寄せられている。また、定員が増員されることにより、保育園への入所希望が叶う可能性があるとの期待されている。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		30年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成30年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続		<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	保育を必要とする家庭の子どもを保育することは、子育て支援の充実の意図に結びついている。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	保育園の建替え事業は、国・県の補助金に該当し、町の負担も生じることとされており、保育を必要とする児童の受け入れ先を確保することは町の責務であるため。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	当初定員増を30名と想定していたが、建替え実施法人との協議により60名の定員増を図ってもらった。この事業に限っては、これ以上の向上余地は見込めない。今後、他園の建替え等により待機児童解消を図ることはできると考えられる。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	耐震基準を確実に満たした園舎の確保、及び待機児童解消の手立てがなくなる。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	補助金の申請等にかかる事務のみのため、これ以上の削減は見込めない。

(2) 30年度を振り返って(全体総括・反省点)

国の補助金協議や交付申請については、当初のスケジュール通りに進めることはできた。しかし、法人が実施する工事について、設計にかかる関係部署等との協議や、労働者の確保など様々な理由により工事予定がずれ込み、予定していた年度内(H31.3月末)での完了ができなかった。そのため、国・町の補助金については次年度の繰越手続きを行い、平成31年度中に全ての事務等が完了することとなった。

3 今後の方向性(31年度以降の計画と32年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成31年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	工事完了を待って、すべての補助金にかかる関係事務を実施。